

 **外来診療一覧**

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1診	河辺	河村	-	交替制	河村
2診	嶽村	嶽村	鈴木	嶽村	嶽村
午後 (予約)	予約診察	予約診察 身障診断	手術	手術	検査 予約診察

※ 外来診察は完全予約制です。初診の際には、紹介状をお持ちください。

禁煙外来からのお知らせ

一時休診します。再開しましたら、またお知らせします。



科の紹介

耳鼻咽喉科は耳、鼻、咽頭喉頭(のど)の病気について診察・治療を行っております。また、めまい、顔面神経麻痺なども耳鼻咽喉科で治療する病気です。疾患により内科的治療(投薬など)、外科的治療(手術など)を患者さまと相談し、方針を決定し行っております。

 **耳鼻咽喉科からのお知らせ** 

当科へ受診される際は紹介状をお持ちください。



当院は急性期病院であり、かかりつけ医より検査、入院手術が必要などで紹介された患者さまを受け入れることが主な役割です。日ごろから心配な症状があるかたはかかりつけ医をお持ちください。また、当院で診察を行い、病状が安定されたかたはお近くの診療所の先生がたへ紹介させていただいておりますので、ご了承ください。

 **地域の先生がたへ** 



耳鼻咽喉科疾患の精査、治療を救急疾患も含め、できる限り対応させていただきますのでお気軽にご紹介いただければ幸いです。よろしくお願い申し上げます。

当科での主な疾患

アレルギー性鼻炎

2008年にはアレルギー性鼻炎の有病率は国民の39.4%となっており、国民病ともいえるべき疾患です。完治することはなかなか難しく、いかに症状をコントロールするかということを目指します。投薬治療が主な治療法ですが、当科では、鼻づまりがひどい場合は、手術（鼻中隔湾曲矯正術、粘膜下甲介手術）も行います。症状がひどいなど、お困りなことがあれば一度受診して下さい。

副鼻腔炎

顔の空洞にうみがたまる病気です。最近は薬を長期に飲むことにより、改善することが多くなりましたが、それでも改善しない場合やポリープができている場合は手術の適応となります。手術は内視鏡下で行っており、患者さまの負担も以前より軽減しています。

滲出性中耳炎

鼓膜の内側に滲出液がたまる状態です。難聴の原因にもなります。長期間通院していても改善しない難治症例があり、その場合は鼓膜切開、鼓膜へのチューブ留置術などの手術を行っています。

めまい

めまいには耳が原因となり起こるものがあります。耳鼻咽喉科では耳からくるめまいかどうか検査を行います。

突発性難聴、顔面神経麻痺

起こる原因はよくわかっていませんが、突然聞こえなくなる、突然顔の動きが悪くなる病気です。早期治療が必要といわれており、そのような症状が出現した場合は早めに受診してください。治療はステロイドホルモンが中心で、重症の場合、糖尿病、高血圧などがある場合は入院して治療となります。

慢性扁桃炎

お子さんでいびきが大きい、口で息をしているなどの症状がある場合、扁桃やアデノイド（鼻のうしろにあるリンパ組織）が大きいことが原因となっている場合があります。その場合は手術を行なって息の通り道を広くします。また、大人のかたで扁桃炎をくりかえしているかたは扁桃摘出術の適応となることがありますので一度受診して下さい。

耳下腺、顎下腺の疾患

耳下腺、顎下腺とも唾液を産生するところです。ここが腫れたりしこりができたりすることがあります。当科では血液、画像などの検査を行い診断します。

声帯ポリープ

最近声がかすれたりなどの症状がある場合、喉頭電子ファイバースコープにて観察を行います。検査で声帯にポリープを発見することがあります。自然に消失することがありますが、改善しない場合は手術にて切除を行っています。

禁煙外来 ※一時休診します。

たばこはいろいろな疾患の原因となっていることが知られています。しかしなかなかやめようと思ってもやめられないことがあります。当科では禁煙外来を行い、適応されるかたには保険にて診療しております。

禁煙外来

禁煙外来からのお知らせ

一時休診します。再開したらまたお知らせします。

“タバコはやめないといけないとわかっていてもやめられないもの・・・。”

というかたが多いと思います。喫煙の害は広く知られるようになり、また喫煙する場所も減り、禁煙したいが・・・というかたへ

禁煙外来では禁煙を始める前から禁煙を達成するまでのサポートをおこなっております。平成18年より喫煙習慣の本質を『ニコチン依存症』ととらえ、禁煙治療に対する保険治療が開始されました。当院でも平成19年5月より保険治療を開始しています。

保険治療を受けるには

1. 直ちに禁煙しようと考えていること
2. ニコチン依存症のテスト (TDS テストといいます。) が5点以上あること
3. 1日の喫煙本数 × 喫煙年数 (ブリンクマン指数といいます。) が200以上あること
4. 禁煙治療を受けることを文書により同意していること

の4つの条件を満たすことが必要となります。

■ 参考(TDS テスト)

1. 吸うつもりの本数よりもたくさん吸ってしまったことがある。
2. 禁煙（節煙）できなかつたことがある。
3. 禁煙（節煙）時吸いたくてたまらなかつたことがある。
4. 禁煙（節煙）時、イライラ、頭痛、眠気、手の震えなどがあった。
5. (4) の症状をなくすため吸つたことがある。
6. 重い病気になり、たばこは良くないのに吸い続けたことがある。
7. せきなど健康上の問題が起きても吸い続けた。
8. たばこで気分が落ち込むなどしても吸い続けた。
9. たばこ無しではいられないと感じたことがある。
10. たばこが吸えない仕事や付き合いを何度か避けたことがある。

※ 5 項目以上該当すれば「ニコチン依存症」と診断。
また、通院は計 5 回必要です。



禁煙を成功するにはこの 5 回の受診が重要です。

禁煙の成功を補助するため、ニコチンパッチ（貼り薬）、パレニクリン（飲み薬）のどちらかの薬剤を使用します。それぞれ、長所と短所があるため、禁煙外来で相談させていただき、そのかたに合った薬剤を使用しています。しかし、薬剤があれば成功するというものでもありません。禁煙を始めた最初の 3 ヶ月に禁煙外来を定期的に受診し、アドバイスをうけることが成功率をあげるといわれています。

当院の禁煙外来は予約制でお時間をとって、一人一人に禁煙の専門スタッフがアドバイスをを行っています。ご興味のあるかたはお問い合わせください。

禁煙外来治療実績

	保険治療を受けられたかた	そのうち 5 回の治療を終了したかた	5 回終了し、なおかつ禁煙できたかた	5 回までに成功したかた	禁煙成功率
平成28年度（平成28年4月～平成29年3月）	19 人	10 人	9 人	0 人	47.4%
平成29年度（平成29年4月～平成30年3月）	18 人	8 人	5 人	4 人	50%
平成30年度（平成30年4月～平成31年3月）	10 人	4 人	3 人	6 人	90%

※ 禁煙成功率とは 5 回終了し成功したかたと 5 回までに成功したかたを足して、保険治療を受けられたかたで割ったものをいいます。

（毎年禁煙治療結果の報告を社会保険事務局に義務づけられています。）



私が診ます!

医師紹介



嶽村 貞治 (たけむら ていじ)

役職

主任部長

専門分野

耳鼻咽喉科一般

卒業年月

平成元年3月

所属学会・
資格など

- ▶ 日本耳鼻咽喉科学会専門医
- ▶ 耳鼻咽喉科臨床学会

河村 理恵 (かわむら りえ)

役職

医員

専門分野

耳鼻科一般

所属学会・
資格など

- ▶ 日本耳鼻咽喉科学会